

【理系研究者様向けのご提案】

あらゆるエネルギー情報の統計情報を一手に

OECD iLibrary

IEA Statistics

(International Energy Agency)



ここ数年、変化を続けている日本のエネルギー市場。環境の変化による従来のエネルギーが与える影響から新エネルギーの開発が注目されるなど、日本国内だけではなく国際エネルギー市場の研究が活発に行われています。IEA Statistics(International Energy Agency)は理系・文系含むエネルギー関連の研究に、あらゆるエネルギー源を対象とした統計データの入手が可能です。

1. 国際エネルギー機関(IEA)とは？

1970年代に発生した史上初のエネルギー危機に対応する過程で創設。加盟32ヶ国のみならず、多くの国々のために、信頼性が高く、価格の手ごろなクリーンエネルギーを確保するため、エネルギーに関する調査や統計作製を行い、各種の報告書や書籍を発行しています。

2. 収録データベース一覧

- Energy Projections for IEA Countries (IEA 加盟国のエネルギー予測)
- IEA CO2 Emissions from Fuel Combustion Statistics (IEA 燃料燃焼によるCO2排出統計)
- IEA Coal Information Statistics (IEA 石炭情報統計)
- IEA Electricity Information Statistics (IEA 電力情報統計)
- IEA Energy Prices and Taxes Statistics (IEA エネルギー価格と税統計)
- IEA Natural Gas Information Statistics (IEA 天然ガス情報統計)
- IEA Oil Information Statistics (IEA 石油情報統計)
- IEA Renewables Information Statistics (IEA 再生可能エネルギー情報統計)
- IEA World Energy Statistics and Balances (IEA 世界エネルギー統計と収支)
- IEA Energy Technology R&D Statistics (IEA エネルギー技術研究開発統計)

★無料トライアルサービスを実施中です★

丸善雄松堂株式会社 [学術情報ソリューション事業部 eリソースセンター]

〒160-0002 東京都港区海岸 1-9-18 国際浜松町ビル

TEL.03-6367-6114 FAX.03-6367-6160 Mail:e-support@maruzen.co.jp

3. 理系研究分野での IEA Statistics の活用例



環境科学系：持続可能な地球環境を支援する

- ・ 「環境」「生態系」の変化が人間活動に与える影響を研究
- ・ エコシステムの調査を通じ動植物の保護研究、環境に配慮した視点からの理工学の発展を支援
※活用例)

⇒論文を書く際に、研究背景の説明が必要

世界のエネルギー・電力事情など IEA 資料統計を参照

例えば、なぜ新エネルギーの開発が必要であるのか効果的に説明するために補足知識となりえる



環境政策系：エネルギー政策全般にわたる知見を活用する

- ・ 理系と文系の両方の知識を使いながら、環境の変化が人間社会や経済に与える影響、およびそれらを考慮したうえの環境政策を考案、分析
- ・ 市場や新技術の分析、各国のエネルギー政策の評価など、研究ニーズにこたえうる有用な情報源として利用可能

※活用例)

⇒政策分析には十分なサンプルの資料やデータが必要

エネルギー各種統計を自ら収集するには膨大な時間と予算がかかる

そこで、IEA Statistics はエネルギー価格と税、石油、ガス、石炭、電力の四半期ごとの統計など様々なエネルギー関係の統計をご提供

★すでに『**OECD iLibrary**』をご契約中のお客様は IEA Statistics の追加購入で
同プラットフォームから IEA Statistics をご利用頂けます。

★無料トライアルサービスを実施中です。

★本データベースは『**OECD iLibrary**』の追加のパッケージです。

単体でご導入いただくことも可能です。『**OECD iLibrary**』の他パッケージと併せてご追加でも
ご利用いただけます。

OECD iLibrary へアクセスはこちら 

<https://www.oecd-ilibrary.org>